

情 報 公 開 文 書

研究の名称	健診腹部超音波検査で発見された膵嚢胞の追跡調査
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 第三内科 安田一朗
研究の概要	<p>【研究対象者】 健診腹部超音波検査で膵嚢胞を指摘され当施設へ紹介となった症例を対象としています。</p> <p>【研究の目的・意義】 画像診断技術の進歩、人間ドッグの普及などから無症状の膵嚢胞が偶発的に発見される機会が増加してきており、実際の膵嚢胞の有病率は全体で8%と報告されています。腹部超音波健診の判定マニュアルでは、5mm以上の膵嚢胞性病変がD2（要精密検査）の対象とされており、膵嚢胞には手術を考慮すべきものから、経過観察が可能なものまで、さまざまなタイプが存在し、治療方針の決定においては、正確な鑑別診断が不可欠であります。診断が困難な場合は手術や化学療法などの治療導入が遅れたり、誤った治療が提供されたりしてしまふことがあり、その結果患者に不利益をもたらす可能性があります。そこで、当施設における健診で指摘された膵嚢胞の症例の検査方法、最終診断、治療方針、転帰を明らかにすることで、健診腹部超音波検査で指摘された膵嚢胞の症例に対して適切に対応できるようにすることを目的としています。</p> <p>【研究の方法】 本研究は2019年1月から観察期間内（研究実施予定の2027年3月31日）の期間内に健診腹部超音波検査で膵嚢胞を指摘され、当施設へ紹介となった症例を対象として、カルテなどから臨床情報を収集し解析を行います。</p> <p>【研究期間】 実施許可日 ～ 2027年9月30日</p> <p>【研究結果の公表の方法】 この研究の解析結果は、専門学会への発表、論文化を通じ公表されます。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	本研究で用いるデータの管理は、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。また対応表は研究責任者並びに分担者が保管・管理します。また、本研究で使用するデータ（病理結果、治療方針、最終診断）はカルテ上に存在する検査画像やレポート、診療記録等を使用します。他機関への情報提供はありません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院長 林篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学学術研究部医学系内科学（第三）教授 安田一朗

研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail entntsk@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学附属病院 第三内科 病院特別助教 圓谷俊貴
--------------------------	---